



## バスラ日誌（2月15日）

- 1 昨日は、聖バレンタインデーであつたらしい。日本にいるときは、たくさんのチョコレートをもらうことで気付くのだが、こちらでは全く気付かなかつた。（保険屋さんのおばちゃんから3つぐらいかな？）毎日、居住区と司令部の往復で、変化に乏しい生活を送っていると日付けや曜日の感覚が麻痺したり、自然や季節を感じる余裕を忘れてしまいがちである。そんな中で、[ ]の息子さんの誕生はとてもエキサイティングな出来事だった。（少し英語まじりになってきた。最近では夢も英語で見る。：ウソ）[ ]ももう今日で5日も歳をとったのか。早いものだ。ちなみに名前の由来は「海のかなたから父が誕生を望んだ」息子さんであるからだ聞いた。これを書きながらまた、感動してしまった。歳をとると涙腺が緩む。[ ]家には、これで3人の男の子が揃ったことになるが、長男が[ ]君、次男が[ ]君、そして[ ]君と、陸・海・空が勢ぞろいし、自衛隊の統合を待たずに統合体制を完了したことになる。大したものだと思う。将来、[ ]3兄弟として、陸・海・空幕僚長間違いなしだ。（勝手に自衛隊に入れるなど奥様におこられるかもしれないが。）
- J9部長と朝会議の帰りに話をしたときに、[ ]の赤ちゃんの話になり、とても喜んでくれていた。英国では、出産の場合当該隊員を帰国させているのだろう、[ ]は帰らないのかとおっしゃっているようなので、『Please use him more hard.』（発言の通り。あとで考えたら変な文だが。）と言ったら、変な顔をされていた。帰せるものだったら帰してあげたいのはやまやまである。申し訳ないと思う。
- 2 夜の11時頃、ぼーっとトイレに向かっていると、向こうのほうから大またで、腕を大きく振りながら歩いてくる人がいた。元気がいいなあ。いつものように、『グッド・イブニング』……『サー』慌てた。「グッド・イブニング・ハウ・アー・ユー」、師団長だった。元気な方だ。毎日、遅くまで精力的に動いておられる。しかし、1人で廊下をウロウロするのはやめて欲しい。危うく欠礼するところだった。
- 3 本日快晴。バスラ4名、極めて健康。[ ]、[ ]、[ ]、[ ]